

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
養老町	広幡(飯ノ木)	令和2年12月23日	令和2年12月24日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	52ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	52ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	12ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	2ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	2ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	2ha
(備考)	

2 対象地区の課題

地区内における70歳以上の農業者の耕作面積の割合が20%以上と他地区と比較して比較的高いため、今後は農地中間管理機構を活用した農地集積をより一層進めて行く必要がある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

広幡地区(飯ノ木)の水田利用は、2経営体が農業経営を担い、主食用米、飼料用米、野菜を中心とした作付を行い人・農地プランに基づいた農地集積を進めていく。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

高齢化等に伴い農業をリタイアし農地の所有者が農地を農地中間管理機構に転貸したあとは人・農地プランに基づいて農地を貸し出すこととする。